

# 研究者の横顔

フリガナ

クバ サヤカ

お名前

久芳 さやか

助成金額

100 万円

ご所属

長崎大学病院 移植・消化器外科

研究テーマ

ステロイドマウスウォッシュによる乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎予防を検討する第III相ランダム化比較試験

## 1：研究者になろうとしたきっかけ

私は一人前の臨床医になることを目標にしていた。  
2011年から2年間九州がんセンター 乳腺科でフェローとして研鑽をつんだことで、目の前の患者さんへ治療を行うだけでは十分ではないことに気づいた。  
大野真司先生、諸先輩、同僚と診療に当たることで、臨床研究を行い、新しいevidenceを積み上げていくことが最良の治療法 (best practice) であると知った。  
その後、患者さんの予後、副作用、生活の質を向上させるための研究を行っている。この研究の成果が、患者さん一人ひとりにより良い治療と生活を提供するための一助となるよう努めます。

## 2：助成研究の内容紹介

2017年と2018年に本助成金をいただき、化学療法に伴う口腔粘膜炎予防として、ステロイド含有含嗽薬 (デキサメタゾンエリキシル) を用いた第二相ランダム化比較試験を行いました。結果は、リスク0.68でステロイド含有含嗽薬は有意に口腔粘膜炎を予防しました。AMEDサポートの元、ステロイド含有含嗽薬を用いた第三相ランダム化比較試験を開始し、本助成金は付随研究である口腔内の炎症性サイトカイン、マイクロバイオームの解析や研究発表のための旅費、英文校正費用、論文掲載費用に使用する予定です。

## 3：2の将来に繋がる結果予想・目標

本研究で口腔粘膜炎予防に関して有用性を示すことができれば、口腔粘膜炎予防の適応症拡大を目指します。  
さらに乳癌以外の別の癌腫での応用も目指します。

## 4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

本研究の助成をいただきありがとうございました。  
患者さんにとってよい支持療法を確立できるよう、研究を進めてまいります。